

「LAP-WALL」、「SOLIDO typeF shirasu」が 2021年度グッドデザイン賞を受賞

GOOD DESIGN AWARD 2021

平形スレート外壁よろい張り工法「LAP-WALL」
窯業系内装材「SOLIDO typeF shirasu」

ケイミュー株式会社(本社:大阪市中央区、社長:木村均)の「LAP-WALL」および「SOLIDO typeF shirasu」が、このたび2021年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。ケイミューとしてグッドデザイン賞は6年連続となります。

平形スレート外壁よろい張り工法 「LAP-WALL」

シーリングレスの美しい仕上がりで スタイリッシュな外壁デザインを演出

長年の実績を持つ、平形スレート屋根材を外壁材としてよろい葺きする「CB ウォール工法」は来春より「LAP-WALL(ラップウォール)」として生まれ変わります。

シーリングレスによる美しい仕上がりとともに、屋根と外壁を同一の素材で構成することによる一体感あふれるシームレスなデザインや、さまざまな色・柄・形状で多種多様な外観デザインを演出できるという、他にない特徴を持つ「LAP-WALL」。

来春には新デザインも発売予定です。どうぞご期待ください。



審査委員評価コメント

強靱な耐候性と自然な風合いを持つ同屋根材を外壁にまで流用し、建物全体のミニマルな一体感を演出することができる外壁材である。メンテナンスレスであることはさることながら、ノンシーリング且つコーナー材等も必要としない(内部での防水が前提)など、細かなディテールに至るまで全体に美しい表現が可能であり、高いデザイン性を持つ点はこの材料の最大の特徴である。また、これに近い意匠性が得られる材料として、アスファルトシングル材が上げられるが、本製品は材料そのものが不燃材であり、更にメンテナンスレス 30年と耐候性にも遥かに優れる為、その優位性は明らかであろう。この製品ラインナップには遮熱性能を有するものもあり、そういった省エネ性能にも今後期待が出来る。

火山由来のシラスを使用した 風合いのある調湿内装材

SOLIDO typeF shirasu(ソリド タイプエフ シラス)は、火山由来のシラスと古紙パルプやセメント素材を合わせた、風合いのある調湿内装材です。

約3万年前南九州で起こった大規模な火山噴火によって降り積もった堆積物がシラスで、その中でも長い年月を経て黄色味を帯びた調湿効果のあるものを選び使用しました。

シラスの多孔質による調湿効果で、湿度が高い時は吸湿、湿度が低い時は放湿をします。

変化の大きい日本の気候風土に適した素材です。



商品情報

SOLIDO typeF shirasu(内壁専用)

発売日 2021年3月

仕様

	サイズ(mm)	重量
10尺品	15×455(働き幅)×3,030	約28kg
6尺品	15×455(働き幅)×1,820	約17kg
3尺品	15×455(働き幅)×910	約8.5kg

SOLIDO サイトでのご紹介

https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/typeF_shirasu/

審査委員評価コメント

シラスは南九州で多く見られ、シラス台地とも呼ばれるその土地の利用においては、その多孔質で軽く脆い特性によって、災害への影響など問題が多いとされてきた火山堆積物。本製品はそのシラスに着目した他にあまり類を見ない建材で、その多孔質な特徴を活かして室内の調湿効果やその素朴な自然の風合いを存分に期待できる建材として開発していることは、その着目点も含め高い評価ができる。

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。

受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>



**GOOD
DESIGN**